

子の貧困減らせる職に

近年、さまざまな社会問題が存在している。その一つが子どもの貧困問題である。中には、修学旅行に行けないほど経済的に厳しい子どももいるという。福井県でも乳児院や児童養護施設に入所する児童だ。私は先日、修学旅行で東



困窮者の子どもを社会で支えて

福井県では、困窮者の子どもを社会で支えて、貧困を減らす取り組みを進めている。県庁で開かれた「子どもの貧困対策を考えるフォーラム」には、県庁関係者や関係機関の代表者が参加し、子どもの貧困対策について話し合った。



福井でフォーラム

生活保護の学生訴え

県報告 施設入所や虐待増
県報告 施設入所や虐待増
生活保護の学生訴え
生活保護の学生訴え
生活保護の学生訴え

やました あつや 山下 敦也さん(万葉中3年)

京へ行き、日本の政治や経済の中心がどのようになっているかを学ぶことができた。また班別研修を通して自立心を高めるなど、普段の学校生活では学べないことを学ぶことができた。多くの経験ができる修学旅行に行けないということは、子どもにとって最高の学びの場を失うということになる。大切な学びの場を失わせないために、子どもの貧困について社会全体で支援しないといけないと思う。中学生の私に今できることは少ない。しかし、貧困で苦しむ子どもが少しでも減っていくように将来、社会に貢献できるような職につきたい。

